

一宮市緑の基本計画（素案）への意見に対する市の考え方

番号	意見（概要）	市の考え方
1	<p>・第4章 01-1 施策の木曽川の整備に関して、愛知県全体で沿川の自治体と連携・調整を図り整備して欲しい。その為にも県や国にも働きかけをして欲しい。</p> <p>サイクリングコースには行き先の表示がなく、市町村毎で不明瞭な分断がなされているので、尾張地域で1つにまとまったコース（同一の基準・構造）として遊歩道とサイクリングコースを犬山から弥富までを一体的に整備して欲しい。対岸の岐阜県や三重県を周遊できるような整備を国に働きかけて欲しい。</p>	<p>・木曽川を軸とした地域を跨るサイクリングネットワークの更なる整備に向けて、国が中心となり沿川の自治体等で構成する「木曽川上流域自転車道整備活用推進会議」が、平成30年度に発足しました。</p> <p>頂いたご意見は、こうした会議等で情報共有し、01-1 施策にある具体的事業例に基づき、今後の整備・促進を図るうえでの参考とさせていただきます。</p>
2	<p>・一宮市内において木曽川堤駅とのアクセスをもっと効果的にしてはどうか。例えば、駅や施設にサイクリング自転車をレンタサイクルとして用意し、拠点で乗り捨てを可能にするなど。</p>	<p>・今後、多極ネットワーク型コンパクトシティを目指すにあたり、拠点間を結ぶ移動手段の確保は重要と考えます。頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>
3	<p>・毎年、街路樹の雑草や伸びた枝が放置され、歩道や車道における通行の支障となっていることがあり、何度か危険な思いをしたことがある。国道や名古屋市は維持車両やパトロールを見るが一宮市では見たことがない。適正な植栽管理及び管理の仕組みを作った上で街路樹の整備をすべき。</p>	<p>・一宮市のパトロールは、主に、市の維持車両ではなく、市が委託した民間業者の車両によって実施しております。</p> <p>頂いたご意見の「街路樹の管理」につきましては、安心・安全な道路利用が図られるよう02-3 施策及び02-4 施策にある具体的事業例に基づき、適切な維持管理に取り組んで参ります。</p>
4	<p>・一宮駅東スクランブル交差点上部に、ペDESTリアンデッキを設け、緑地パークがあると駅前が賑わうのではないのでしょうか。</p>	<p>・ペDESTリアンデッキの設置につきましては、駅からの歩行者の流れや駅改札が1階にあること等利用の観点からも現時点では難しいと考えます。</p> <p>また、緑地パークにつきましては、03-6 施策にある具的事業例「歩きたくなるまちなか空間の形成に向けた緑化推進」に基づき、来年度より、駅周辺において、居心地が良く歩きたくなる「まちなか」の形成を目指し、市民や企業の皆様等と議論を進めていく予定であります。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
5	<p>・尾西グリーンプラザ跡地を「人工的な物を自然に還して、本来の河川に戻すための研究を行う場所」にしたりすべきだと思います。</p>	<p>・グリーンプラザ跡地（富田山公園）の再整備につきましては、03-1 施策の具体的事業例に基づき、現在検討中であります。</p> <p>また、本来の河川を取り戻す取り組みとしては、現在、一宮市におきましても国土交通省等の協力を得て、木曽川におけるイタセンパラの保護啓発及び環境学習を行っております。</p> <p>頂いたご意見は参考にさせていただきます。</p>
6	<p>・空き家対策等と連動して空き家買収を行い公園として活用してはどうか。</p>	<p>・個人資産である空き家を市が買収することは考えておりませんが、空き地につきましては、05-1 施策、「市民緑地認定制度」を活用し、「憩いと安らぎの場となるオープンスペース」の創出を図る検討をして参ります。</p>
7	<p>・緑地計画において、「公園が少ない」と示されているので、公園を増やして、火災や防災の時に緊急対策用地としての機能を持たせるべきだと思います。</p>	<p>・市内の公園が不足している地域に対して、地域特性や社会情勢を考慮し、居住誘導を目的とした面的基盤整備に併せて検討して行きたいと考えております。</p> <p>02-1～02-4 施策により、既存の公園・緑地及び街路樹等によるグリーンインフラとしての質の向上を図るとともに、02-5 施策の具体的事業例「防災協力農地制度の活用推進」により「防災機能」の強化に取り組んで参ります。</p>